

背景, 目的

- ・就職先が多岐に渡り, 少人数や先輩OTがない職場が増加傾向.



- ・就職後, どのようにキャリアアップすれば良いか分からない.



キャリアアップのロードマップとしてキャリアラダーを活用.



石川県作業療法士会キャリアラダー概要

OTとして自分のキャリアがどう形成できるのかを見える化
自身の今の強み・弱みを知り、目標設定・振り返りに活用できる

OTとしての
自己実現

専門,認定OT
地域,社会貢献
管理者・リーダー
県士会運営 etc...

3つの柱

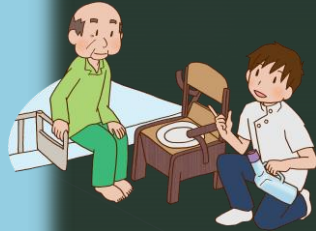
臨床実践能力

学習

人間性・社会性

【臨床実践能力】の柱

臨床に必要な実践能力を身に着ける
後輩指導, 高度な専門知識・技術・
経験を有することができる。



【学習】の柱

自己学習の意識向上に向けて, 生涯
学習制度の受講の流れを把握, 資格
取得, 得た知識や技術を外部に発信
できる。



【人間性・社会性】の柱

作業療法士, 医療人として規範と
なる行動をとれる。
チームや組織内で役割を担い, 社会
貢献ができる。



各ラダーの構造

Level	I 新人レベル	II 自立レベル	III 所属チーム リーダーレベル	IV 多職種チーム リーダーレベル	V 地域貢献 レベル
参考経験年数	1～2年目	2～4年目	4～6年目	6～10年目	10年目～
到達目標	到達目標の概要				
項目	到達目標の詳細				

石川県作業療法士会キャリアラダー(臨床実践能力)

Level	I 新人レベル	II 自立レベル	III 所属チーム リーダーレベル	IV 多職種チーム リーダーレベル	V 社会貢献レベル	
参考経験年数	1～2年目	2～4年目	4～6年目	6～10年目	10年目～	
到達目標	指導のもとに臨床実践ができる	自立して臨床実践ができる	後輩スタッフのモデルとなり、臨床実践の指導ができる	多職種チームのマネジメントができる 分野を限定しない広範囲な知識・技術・経験を有している	特定の分野において高度な知識・技術・経験を有しており、地域にその能力を活用できる	
臨床実践能力	情報収集	対象者の社会背景、ニーズ、治療方針等を理解している	予後予測に必要な情報を集めることができる	問題点や方針について把握し理解している	多職種と適宜連携し、互いの役割や進捗状況を把握している	地域の課題や資源を適宜把握し理解している
	評価	指導のもと、適切な検査項目を実施できる	単独で適切な検査項目を選択し、手技ができる	適切な検査項目や手技を後輩に指導できる	環境面も含めた多角的な評価ができる	地域特性における課題を捉えることができる
	目標設定	指導された内容を理解し、期間が明確で実現可能な目標を設定し説明できる	実現可能な個別性のある目標を設定し説明できる	健康管理面も意識し根拠に基づいた実現可能な目標設定が行え、後輩へ助言できる	多職種の方針を含めた総合的な目標設定の支援ができる	地域の場合（地域ケア会議等）に出向いて、目標設定の支援ができる
	プログラム立案	指導のもと、訓練プログラムの目的・今後の展望を説明できる	単独で適宜訓練の方法・修正・追加ができる	効果判定を踏まえ、訓練方法、目標の修正・追加ができ、後輩にも助言できる	多職種の方針を含めた多種多様な総合的なプログラムの提案ができる	地域の場合（地域ケア会議等）に出向いて、具体的な解決策を提案できる
	訓練・ リスク管理	マニュアルやリハビリテーション中止基準を理解しながら訓練できる	経過や合併症、投薬の情報をもとに単独で安全性及び妥当性のある訓練ができる	重篤化回避のモニタリング、合併症予防などハイリスク対象者の対応ができ、安全性及び妥当性のある訓練を後輩に指導できる	費用対効果を意識して訓練ができる	地域の場合（介護予防教室等）に出向いて、指導ができる
		指導のもと、自分の行った訓練を振り返り、効果判定できる	治療目標に整合した適切な内容・時間の訓練が単独でできる			
記録・説明	指導のもと、担当者同士書類を元に対象者にリハビリテーション内容や必要性を説明できる	単独で書類を元に対象者にリハビリテーション内容や必要性を説明できる	アウトカムを数量化して、記録や報告ができる	多職種・対象者や家族からの質問に対して適切に答えることができる	地域の場合での的確に説明できる	

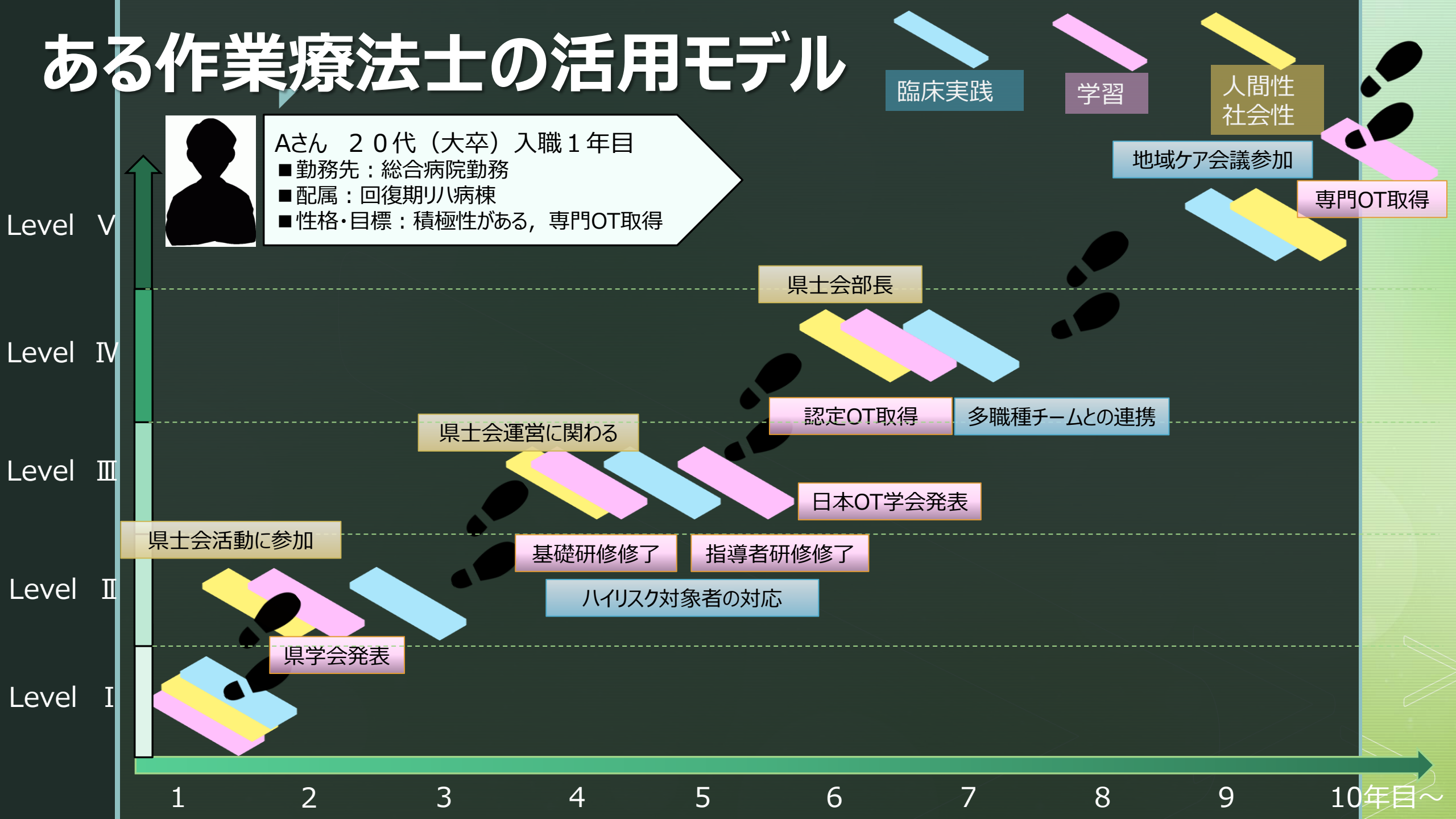
石川県作業療法士会キャリアラダー(学習)

Level	I 新人レベル	II 自立レベル	III 所属チーム リーダーレベル	IV 多職種チーム リーダーレベル	V 社会貢献レベル
参考経験年数	1～2年目	2～4年目	4～6年目	6～10年目	10年目～
到達目標	助言を得ながら、臨床課題をとらえる	臨床課題を解決するための知識・技術を身に付ける	疾患・対象者に対する知識・技術を後輩に指導ができる 現職者基礎研修を修了する	知識・技術を多職種に対して応用できる 生涯教育を継続して行う	知識・技術を組織外に発信できる
学習	臨床疑問を持ち、自分の課題を述べることができる	臨床課題を解決するための学習を実行している	作業療法部内の教育的指導が行える	多職種に対して知識・技術を用いて助言できる	作業療法部内の成果を外部に発信できる
	文献を検索することができる	文献から得た知識を治療に活かすことができる	エビデンスを考慮し、文献を治療に活用できる		
	興味のある研修会・学会に参加する	自主的に研修会・学会に参加できる	研修会や学会で得た知見を臨床で応用できる	研修会や学会で得た知見を組織内に還元できる	学会等の認定資格取得を目指す
	組織内や事例検討会での発表が行える	県学会で発表できる	東海北陸・全国規模の学会で発表できる	組織内の役割に応じて、学会発表、論文、研究に取り組む	
生涯教育制度	現職者共通・選択研修に参加する (各支部の事例検討会の発表や基礎ポイント研修)		基礎研修50ポイントを達成する	認定・専門作業療法士・MTDLP指導者の取得を目指す (認定・専門作業療法士・MTDLP指導者を取得する)	
	MTDLP基礎研修に参加する	MTDLP事例検討会で発表する (実践者の取得)	臨床実習指導者研修に参加する (臨床経験5年目～)	後輩指導や臨床実習指導を行う	

石川県作業療法士会キャリアラダー(人間性・社会性)

Level	I 新人レベル	II 自立レベル	III 所属チーム リーダーレベル	IV 多職種チーム リーダーレベル	V 社会貢献レベル	
参考経験年数	1～2年目	2～4年目	4～6年目	6～10年目	10年目～	
到達目標	社会人として責任ある行動がとれる	部内のスタッフと協業して業務を円滑に遂行できる	所属チームの先頭に立ち、業務を遂行できる	多職種チームの中で良好な関係を構築できる 県士会の支部・各部の運営に協力できる	組織や県士会の支部・各部の発展に寄与できる 社会貢献できる	
人間性・社会性	基本的態度	社会人として適切な行動(身だしなみ・挨拶・時間厳守・整理整頓・言葉遣い)が取れる 適切なタイミングで上司に報告・連絡・相談ができる	タイムマネジメントができ、計画的に業務を行うことができる	* 基本的態度面はLevel I～IIで獲得されることが望ましい		
	コミュニケーション	自分の意思や考え方を伝えることができ、他者の意見を聞くことができる	簡潔にわかりやすい説明ができ、他者の意見も尊重できる	所属チームのリーダーとして他部署と調整、合意形成をすることができる	多職種の意見を統合し、関係部署と調整、合意形成をすることができる	地域の専門職や住民と意見交換ができる
		他のスタッフとのコミュニケーションが適切に取れる		所属チームのスタッフと協力的な関係を構築している	多職種チームのスタッフと協力的な関係を構築している	
		相手の表情、心情を汲み取って行動できる		所属チームのスタッフの状況を把握し、困っている際に支援ができる	多職種チームのスタッフの状況を把握し、困っている際に支援ができる	
	組織人として	組織の一員として、責任ある行動がとれ、規律を守ることができる	コスト管理を意識した行動がとれ、与えられた業務を責任を持って遂行できる	業務上の改善点について積極的に提案及び改善策を提示・自ら実行できる	業務上の改善に向けて関係者を巻き込み実行することができる	組織人として社会貢献できる
		対象者の担当チームメンバーと連携・協調することができる	他のスタッフと連携・協調することができる	部下や若年者の意欲を引き出し、資質を向上させる	リーダーシップを発揮し、適切かつ効率的な内部マネジメントを行うことができる	
		指導のもと、制度の理解ができる(診療報酬・介護保険・総合支援法)	制度の理解ができる	制度の活用が適切に行える	制度についての教育に関わることができる	
		県士会活動に参加する		県士会の支部・各部の運営に関わる	県士会の支部・各部に参加して役割を担う	

ある作業療法士の活用モデル



出産・子育て期間のある作業療法士の活用モデル



Bさん 40代 入職22年目

- 勤務先：公立病院勤務
- 配属：訪問リハ
- 性格・目標：子育て中なのでワーク・ライフバランス重視、知識のアップデートと業務の効率化

Level V

Level IV

Level III

Level II

Level I

1

3

6

9

12

15

18

21年～

臨床実践

学習

人間性
社会性

地域課題を踏まえた
臨床実践

大学院修了

市の事例検討会
自立支援協議会参加

学会発表の継続

地域での個別支援会議参加

チームのマネージメント

県士会各部での活動

基礎研修終了

結婚

出産

出産

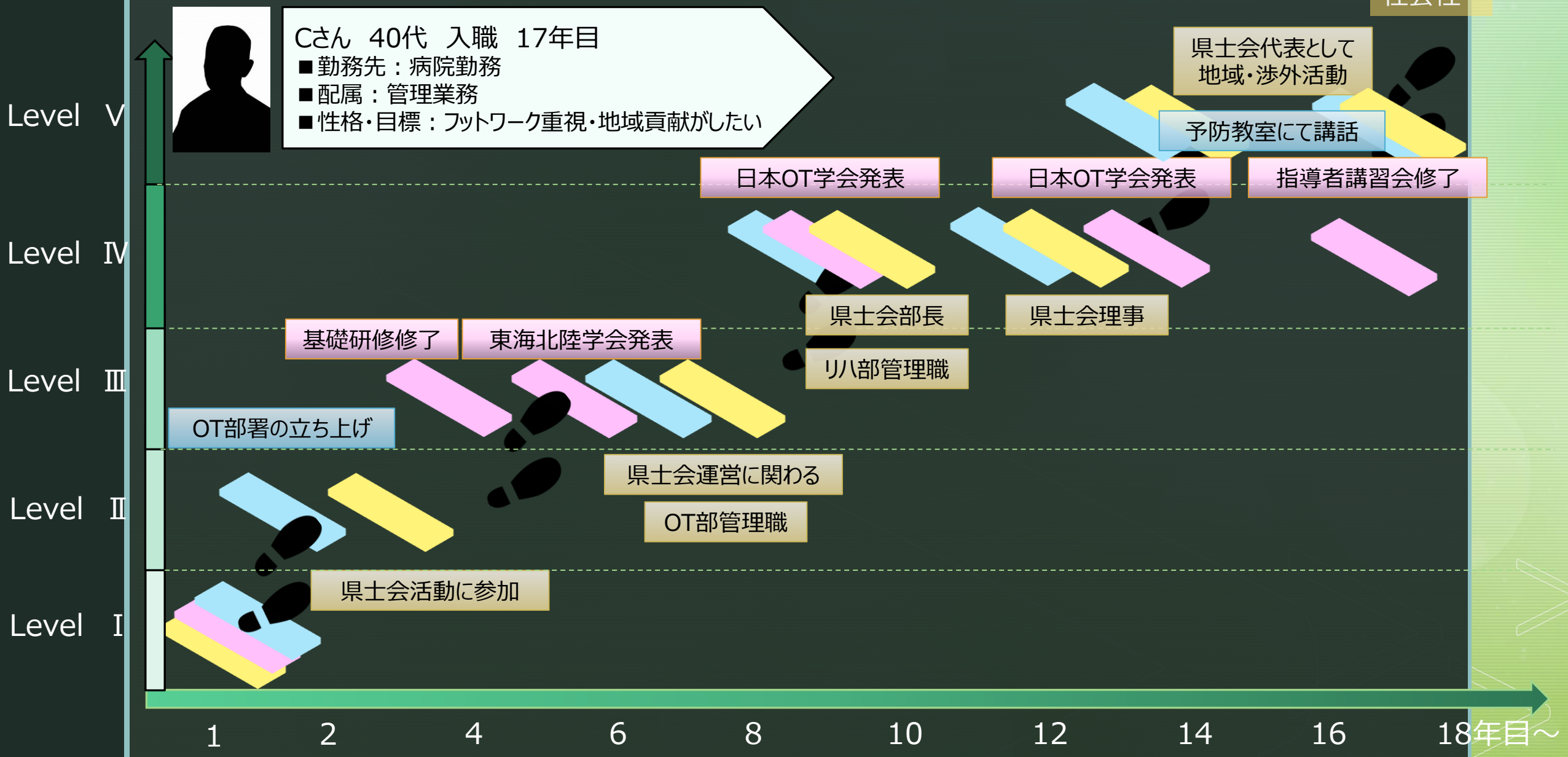
多職種への助言

臨床実習指導

院内学会発表

県士会活動に参加

中堅作業療法士の活用モデル



目標設定や振り返り場面にて

